

【駿河湾水産振興協議会】

# 訪問調査の結果報告書

## 1 訪問調査の目的

東京都、愛知県、長野県、山梨県の旅行事業者を市町職員が訪問し、駿河湾中西部の地域のPRを行うとともに、今後実施する新たな商品、メニュー、観光コース開発のため、旅行事業者や団体・個人旅行客のニーズを把握する聞き取り調査を行った。

## 2 調査実施先

訪問都市	日程	業務種別	訪問先	担当市町
長野市 松本市	7月14日(木)	団体旅行	全国旅行業協会長野県支部	焼津市 吉田町 御前崎市
	7月15日(金)	団体旅行	アルピコ長野トラベル株式会社	
		団体旅行	松本ツアーサービス株式会社	
甲府市	7月21日(木)	団体旅行	山梨県旅行業協会	静岡市 焼津市
		団体旅行	株式会社柳原観光(南アルプス市)	
名古屋市	8月1日(月)	個人旅行	(株)JTB国内旅行企画中部事業部 仕入販売部仕入企画担当	吉田町 牧之原市
		個人旅行	(株)日本旅行赤い風船中部事業部開発チーム	
		団体旅行	名鉄観光バス(株)旅行営業部旅行企画課	
東京都	8月2日(火)	個人旅行	(株)JTB国内旅行企画本社 観光戦略担当	静岡市 焼津市
		個人旅行	(株)日本旅行赤い風船東日本事業部西日本デスク	

## 3 地域のPR

各市町の観光パンフレット等を使い、訪問した市町職員が各地域の観光地、観光施設、飲食・物産施設等について説明を行った。

## 4 聞き取り調査

調査内容は、駿河湾水産振興協議会調査・地域PR部会が、東京都での消費者調査のために協議し、作成した「駿河湾の地域資源を活用した新商品等開発のための調査票」の中から、旅行に関する項目を抜粋、加工して使用した。

- 駿河湾中西部への旅行の実施について
- 旅行中の食事について
- 旅行での土産物について

## 5 調査結果の詳細

### (1) 駿河湾中西部への旅行の実施について

駿河湾中西部のイメージはどのようなものですか。どのような魅力を感じますか。

業務種別	地域	駿河湾中西部のイメージ・魅力
団体旅行	愛知県	○しらす ○桜えび ○寿司 ○いちご ○焼津さかなセンター ○グリーンピア牧之原 ○エスパルスドリームプラザ
	長野県	○水産業 ○まぐろ ○桜えび ○お茶 ○うなぎは浜名湖のイメージが強い ○海辺 ○ゴルフ場、スズキ等の産業視察 ○温泉というイメージはない ○平地で自転車多い ○全体としては温暖なイメージである。 ○静岡へ行く時期は真夏は避けたい。 ○御前崎に行ったが、岬という感じがしなかった。 ○以前には气象台に御前崎が出ていたが最近はでてこない。(宣伝効果があった)
	山梨県	○海産物(特にまぐろ) ○お茶 ○海、砂浜、港など ○大井川鉄道 ○多くの観光資源を持つが、山梨県ではまだ知られていないものも多い。 ○静岡県との違いについては認識が低い。
個人旅行	東京都	○食や水産物 ○桜えびのイメージは強い ○海、魚、海鮮のイメージ ○焼津さかなセンター ○通過県である(のぞみが止まらない) ○車ではちょうどよい。交通の便が良い。 ○首都圏マーケットでは、3時間で行けるためちょうどよい(浜松は遠い) ○1泊2日であると伊豆止まり ○名古屋との間で考えると、浜名湖が多い。 ○静岡市、焼津市、御前崎市は知っている。 ○目にする頻度では、静岡よりも焼津の方が多い。 ○駿河湾自体があまりわからないのではないか。 ○各自治体の位置関係や並び順が消費者にはわからない。
	愛知県	○ビーチ(静波) ○スポーツ合宿 ○ペンション、民宿 ○焼津さかなセンター、石原水産等 ○駿河湾だから獲れる海の恵を活用していく。 ○「駿河湾中西部」と聞いてイメージが湧かない。分かりやすいネーミング(愛称)があると良いと思う。 ○駿河湾全体をPRしていく方が効果的。 ○ストーリー性を持ったPR方法を考えていくことが重要。

これまで駿河湾中西部への旅行で、良かったと思った場所やエピソードがありますか。

業務種別	地域	良かったと思った場所やエピソード
団体旅行	愛知県	○いちご狩りは人気があり、毎年ツアーを組んでいる。 ○静岡空港ができた時には、デッキ見学を実施した。
	長野県	○駿府城公園 ○安倍川もち ○三保の松原 ○久能山東照宮 ○エスパルスドリームプラザ ○焼津さかなセンター ○牧之原お茶体験 ○徳川家康公顕彰400年祭等のイベントが良かった。

		○牧之原台地良かった。雄大さと富士山も見ることができた。
	山梨県	○静岡市の日本平ロープウェイは、ガイドの説明が良かった。 ○いちご狩りは、今一つだった。いちごは冷やした方がおいしかった。 ○焼津市の石原水産は、試食やおもてなし、手数料が良かった。(旅行業者が昼食や休憩の場所を選ぶ際に重要な要素となる。) ○島田市の蓬莱橋は、観光と併せて歴史の話を聞かせると良い。 ○他地域への観光ではあるが、海鮮バーベキューがとても好評だった。 ○山梨県の観光客は、たくさんのお土産を買う。特に干物、刺身、のりなどの海産物が多い。 ○長野県の観光客は、お茶を良く買う。
個人旅行	東京都	○焼津さかなセンター ○御前崎、日本平には行ったことがある。しかし、頻度は多くない。 ○御前崎は灯台のイメージ ○行ったことがない
	愛知県	○日本平の景色は、どの季節に行っても良い。 ○三保の松原 ○由比の桜えび ○牧之原の茶畑が雄大で良かった。パンフレット等で視覚に訴えるPRが効果的。

駿河湾中西部へ旅行する団体、個人としては、どのような人たちが対象になると思いますか。

業務種別	地域	駿河湾中西部へ旅行する団体、個人
団体旅行	愛知県	○50～60歳代女性が7割
	長野県	○年配の方が中心(50～60歳代くらい) ○中年層、ある程度年配の人が多く。 ○男性より女性が多い。
	山梨県	○年配の人(特に団塊の世代の人たち) ○女性が多い ○歴史に興味のある人たち ○無尽会(積立会)の人たち ○職場の旅行は、今はない。
個人旅行	東京都	○バス旅行で年配の方が対象となる可能性が多いと考える。 ○女性が多いと考える。
	愛知県	○シニア(重点客層)旅行が増加している。 ○女子旅(重点客層)が増加している。 ○リピーターよりも新規顧客に対しどうアプローチしていくかを研究している。 ○若い人がどのようなプランに反応するかをアプローチしている。 ○特にターゲットを絞る必要はないと考えている。 ○何を売りにするかが大切。

駿河湾中西部へ旅行するとしたら、どのような旅行になると思いますか。(交通手段、日程、行先、観光する場所・施設・イベントなど)

業務種別	地域	駿河湾中西部への旅行の手段・内容
団体旅行	愛知県	○日帰りバス旅行(距離的にも日帰りでいろいろな内容を入れ込める)
	長野県	○目的は、グルメや買い物が中心。 ○イベントは少ない。 ○長野県は海がないため、海を求めた行程となる。(焼津さかなセンター、久能いちご狩り等、また域外では伊豆、舘山寺) ○通常の観光スポットへ行くことが多い。その他、駿河湾フェリーや東海道広重美術館など。 ○日程は1泊2日。中部横断自動車道が完成すれば日帰りも可能となる。 ○宿泊は、旅行業協会の会員となっている旅館等に宿泊する。(焼津松風閣や御前崎グランドホテル等) ○静岡県へは車が主となる。電車はあまりない。 ○平成26年の貸切バス運賃料金制度の改正により、バス料金は安くない。 ○若者はバス旅行よりも個人(自家用車)旅行 ○年配の方が行くには日帰りだと、距離的に厳しい。泊まりであれば良い。 ※若者を取り込むためのツアーを企画し、PRしている。
	山梨県	○グルメ(海鮮)が目的の旅行(山梨県の観光客には海鮮バーベQがあると、特に喜ばれる。) ○買い物(海産物)が目的の旅行(山梨県は観光よりも買い物重視) ○交通手段は観光バスが多い。 ○個人旅行も自動車が多い。 ○最近は募集式の個人ツアーが多い(この人たちはリピーターになりやすい)
個人旅行	東京都	○正直、商品開発しにくい。点でわかっても線で結ぶのが難しい。 ○掛川までは行くが、それより西は難しい。 ○特段イベントのイメージはない。 ○若い人にはテーマパークなどのニーズがあるので、若年層がこの地域で足りないと考えものを作っていく必要がある。 ○日程は1泊2日、交通手段は、自家用車が多いが、行程としては少し遠い。 ○新幹線&現地のフリーきっぷの活用もある。 ○レンタカーはコストが高く付くため難しい。 ○既存の企画ではバスツアーが多いが、マーケットは縮小傾向にある。
	愛知県	○内容は海産物のグルメ旅が中心。焼津さかなセンター、丸子宿、久能山東照宮などが多い。 ○地元の物を食べられる場所や旅館を選定する。 ○勝手井(ご飯のみを買い、市場の中の海産物等自分の好みで作っていく)など、自分の好みで作っていく物が人気。 ○イベントは重視しない(客はイベント内容に左右されない傾向がある) ○近年、「漁港に行きたい」という声はある。ただし、受入態勢が無い。 ○日帰り旅行中心(ただし、観光業の立場からすると、宿泊をしてもらうことで利益が生まれるため、宿泊してもらえるよう戦略を考えていく。) ○宿泊は焼津、日本平などが多い。 ○交通手段は、法規制によりバス料金高騰のため自家用車を中心。 ○バス旅行が減っているため、個人旅行を中心に売り込んでいく。 ○個人旅行中心に、イベント関係やコンベンション、視察等に取り組んでいきたい。

駿河湾中西部へ旅行するとしたら、1人あたりいくらかの参加費になると思いますか。

業務種別	地域	駿河湾中西部へ旅行する場合の旅費
団体旅行	愛知県	○日帰りで7,980円／人の企画を出している。(昼食、土産付)
	長野県	○1泊2日で3万円／人～3万1,500円程度 ○距離と時間で運転手を増やさなければいけない。料金制度の改正により、平成21年の長野から東京までのバス代(日帰り)が9万円に対し、H28年では22万円と倍以上になっている。
	山梨県	○日帰りで8,500円～1万円(昼食、観光、保険込み) ○特別な昼食などがあれば、更に上積みされる。 ○静岡であればバス代の下限は10万8,000円。
個人旅行	東京都	○個人旅行の1泊2日で3万円～3万5千円程度。
	愛知県	○日帰りで1万円以内。 ○1泊2日で2万5,000円～3万円程度。 ○顧客は、価値あるものにはいくらかでもお金を出す。ブランド化を進め、その商品にいくら出してもらえるのかを考えていくべき。

駿河湾中西部への旅行企画にあたっての課題(必要なもの、効果的なもの、障害となるものなど)としては、どのようなものがありますか。

業務種別	地域	駿河湾中西部への旅行企画にあたっての課題
団体旅行	愛知県	○シーズンリティの不足(冬場はいろいろできるが、その他の季節が弱い。) ○体験企画がほしい(イチゴ狩り、お茶詰め、しらす釜揚げ見学等)
	長野県	○旅行会社が行先を選定する場合は、「目新しいもの」、「特化した目玉」を探す。駿河湾地域にそのようなものがあるといい。 ○宿泊施設が少ない。 ○距離と金額が課題 ○バス料金は上がったのではなく、規制どおりになっただけ。消費者には、本来の料金に慣れてもらえない。(ただし、消費者がツアー等を選択する際、価格に大きく左右されている。) ○旅行会社がバス旅行を計画するに当たり、行政が補助金を出すことでツアー料金を下げることができるため、補助金のある地域でツアーを組むことも多い。(蒲郡・佐渡・福井などで実施している。バス1台につき20人以上、○箇所以上宿泊の場合には2万円補助など)
	山梨県	○観光資源の情報発信(隠れた観光資源があるが、知られていない。) ○横のつながり(業者間、団体間)を活用した情報の拡散が必要。 ○バス駐車場の確保(良い観光地があっても駐車場がないとコースに組み込むことができない。)
個人旅行	東京都	○若年層はテーマパークを求めている。(焼津さかなセンターもテーマパークの要素を取り入れるとより良い。) ○ガンダムなどを使ったものをもっと売り出すとよいと考える。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国各地の自治体や観光地がアピールしているため、なかなか目に留まらない。</li> <li>○単発イベントでは継続性がない。</li> <li>○アピールポイントを絞って集中・重点・継続的に実施する必要がある。(「あれもこれもある」は日本どこでもある。)</li> <li>○首都圏から見たものと、名古屋から見たもの、大阪から見たものは違うため、それぞれの地域に合わせた発信が必要となる。(出発地目線(出発地の地域性、距離、その間にある地域などなど))</li> <li>○静岡市以外は、新幹線の発着場所ではないことから、電車での来街者が少ない点が課題である。</li> </ul>
	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験型の施設があると良い。(例:漁港見学、釜揚げシラス加工場見学(昼食付1500円等))</li> <li>○ご当地グルメの発信の仕方を工夫すると良い。食材等の具体的な使い方等を明確にする。(「海鮮3色丼」よりも魚の名前を明記した方が、イメージしやすい。)</li> <li>○テーマ性のあるルートの開発(沼津は観光客が急増している。同じ港町として、観光的な視野も含めて沼津のどのような取組が効果を上げているのか調査してみると良い)</li> <li>○どこから誰を引き込むかにより、効率的なアクセスルートを考えることが重要。</li> <li>○旅行会社としては、ツアーを組む際にある程度の人数を受け入れられる施設が必要となる。</li> </ul>

## (2) 旅行中の食事について

旅行の食事場所は、何をポイントにして決定しますか。また、主にどのようなところを選んでいきますか。

業務種別	地域	旅行中の食事場所
団体旅行	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャパ重視(バス団体受入可能な場所)</li> <li>○キャンセルに対する融通が利くところ</li> </ul>
	長野県	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅館や地域の有名店を選ぶ。</li> <li>○旅館連盟会員(会費を納めている)施設(焼津さかなセンター・松風閣・グランドホテル、その他、稲取・鎗山寺・袋井などの施設。)</li> <li>○個々に代理店と契約しているケースもある。</li> <li>○ポイントは、目玉メニューや地域の産物がある場所</li> <li>○サービスエリアを選ぶ場合は、帰路中の自由食として組む</li> <li>○行程の時間帯による。 ○メニューと単価 ○キャパシティ</li> <li>※最近ではドライブインも潰れてきている。</li> </ul>
	山梨県	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全旅連のクーポンが使える店舗(各店で割引や手数料ある。)</li> <li>○お土産も買えるところ。</li> <li>○旅行目的、観光客のニーズに合ったところを選択している。</li> <li>※高速道路SAは食事場所と考えていない。</li> <li>※日帰りツアーの場合、夕食は基本的に考えない。</li> </ul>
個人旅行	東京都	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ツアーであれば、ドライブインが多い。(最近バス旅行が減っている。)</li> <li>○個人旅行であれば、地元の有名店、宿の夕飯</li> </ul>
	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>○バスツアーであれば、バスが止められる場所</li> <li>○顧客の満足度が得られる場所</li> <li>○旬の食材が提供される場所</li> <li>○その土地の名物が提供される場所</li> </ul>

		<input type="checkbox"/> 団体は大型店(焼津さかなセンター等)で、予約が可能などところ <input type="checkbox"/> 地元ならではの店 <input type="checkbox"/> 老舗料亭 <input type="checkbox"/> 最近では、バイキングが人気(ツアー客は、趣向がバラバラなため)
--	--	---

旅行での食事は、主にどのような種類(和食、洋食、中華料理など)、どのような料理方法(生、焼き物、煮物、揚げ物、鍋、煮込みなど)になりますか。

業務種別	地域	旅行での食事の種類
団体旅行	愛知県	<input type="checkbox"/> 和食中心 <input type="checkbox"/> 生(刺身)、目の前で握ってくれる寿司等 <input type="checkbox"/> ホテルバイキング
	長野県	<input type="checkbox"/> 年配のお客さんが中心であるため、和食がメインとなる。 <input type="checkbox"/> 洋食、ビュッフェ・バーベキューなど変わったもの(従来の和食は飽きてきている) <input type="checkbox"/> 地域の産物として、刺身がある場合は刺身。 <input type="checkbox"/> ポイントとして、温かいものは温かいまま食べられるよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 料理方法は生、焼き物が多い。 <input type="checkbox"/> 年齢層に合わせている。値段との兼ね合いもある。 <input type="checkbox"/> 自分でできる簡単な焼き物を出すところもある。
	山梨県	<input type="checkbox"/> 和食を選ぶことが多い。 <input type="checkbox"/> 料理方法は生が多い。 <input type="checkbox"/> 少量でも良いもの。 <input type="checkbox"/> いつも食べているものと違うもの(自分で焼いて食べるもの、バイキングも良い。)
個人旅行	東京都	<input type="checkbox"/> 和食がメイン <input type="checkbox"/> 刺身等の生や焼きが人気。鮮度の良さが強み。 <input type="checkbox"/> 焼き、煮るも必要であるが、生が一番ニーズが高いと考える。
	愛知県	<input type="checkbox"/> 和食中心 <input type="checkbox"/> 海産物は、素材そのままが良いが、地元ならではの食べ方を提供されると客は食いつく。 <input type="checkbox"/> 素材を調理する際に、調理のされ方が客の想像を超える(今まで見たことない、地元ならではの)料理が提供されると、リピーターになる。 <input type="checkbox"/> ※素材そのものの味を活かすことが良いが、ネーミングやキャッチコピーを工夫すると更に良い。 <input type="checkbox"/> ※客が内容をイメージできるように、おしながき等に記入すると良い。

旅行での食事は、1人あたりいくらぐらいになるとおもいますか。

業務種別	地域	食事の金額
団体旅行	愛知県	<input type="checkbox"/> メインとなる企画に応じて食事代は変わるが、昼食2,000円程度 <input type="checkbox"/> 高級店なら4,000～5,000円かける場合がある。
	長野県	<input type="checkbox"/> 昼は1,000円～3,000円程度 <input type="checkbox"/> まぐろやうなぎであれば3,500円程度。 <input type="checkbox"/> 夜は宿泊に含まれる場合が多いが、概ね4,000～5,000円程度
	山梨県	<input type="checkbox"/> 昼食は1回1,500円～2,000円。(東京では3,000円程度) <input type="checkbox"/> 夕食は1回4,000円～5,000円。
個人旅行	東京都	<input type="checkbox"/> 個人の昼は1,000円～2,000円 <input type="checkbox"/> パッケージの夜の食事は原価で3,000円。 <input type="checkbox"/> 個人旅行では、夕食の単価は出ない
	愛知県	<input type="checkbox"/> 昼食:1,000～3,000円 <input type="checkbox"/> 夕食:2,000～3,000円



		○最近は予算に合わせて、食事代金3,000円、5,000円、8,000円のコースを選択するツアーなども組んでいる。 ○メインとなる料理によって異なる。(客は価値あるものに金を出す。)
--	--	--

駿河湾中西部へ旅行するとしたら、食事には、どのような水産物を選びますか。

業務種別	地域	食事に選ぶ水産物					
団体旅行	愛知県	○かつお	○まぐろ	○しらす	○桜えび		
	長野県	○まぐろ	○しらす	○桜えび	○きんめ	○さば	○うなぎ
	山梨県	○かつお	○まぐろ	○しらす	○きんめ	○貝類	
個人旅行	東京都	○かつお	○まぐろ	○しらす	○桜えび	○さば	○あじ
	愛知県	○いわし	○うなぎ	○貝類			
	愛知県	○かつお	○まぐろ	○しらす	○桜えび	○うなぎ	○あじ

(3) 旅行中での土産物について

旅行中に土産物を購入する場所は、何をポイントにして決定しますか。また、主にどのようなところを選んでいきますか。

業務種別	地域	土産物を購入する場所
団体旅行	愛知県	○サービスエリアをメインとする。 ○契約店の中から選ぶ。(手土産付きの場所もある。)
	長野県	○SA ○道の駅 ○大型土産物店(焼津さかなセンターなど) ○駐車場、トイレのあるところ ※上越(新潟)の海産物店では、事前連絡すれば時間外でも開けて待っていてくれる(客の事情を考えた柔軟性と来店してほしいという気持ちが伝われば選ぶ。) ※道の駅には地元のものがある。道の駅で食事と併せてというパターンもある。
	山梨県	○無料の場所 ○海産物の豊富などところ ○食事と一緒に買い物ができるところ
個人旅行	東京都	○高速道路SA ○道の駅 ○新幹線の駅(帰りに荷物になるため) ※大型土産物店は最近ほとんどない。 ※最近、土産物を買わなくなった。(買って配るという風習は少なくなり、自分への購入が多くなっている。反面、金額が高くても気に入ったものを買う傾向にある。) ※ホテル旅館は、よっぽど時間がない時(個人的な意見) ※朝食に水産物を出すことで、ホテル旅館で干物や佃煮の販売促進をすることはある。
	愛知県	○サービスエリア(充実している。特に新東名) ○道の駅 ○地元の物を多数に取り揃えている場所 ○契約店の中でルートに応じて選定している。

土産物は、何をポイントに選ばれていると思いますか。

業務種別	地域	土産物を選ぶポイント
団体旅行	愛知県	○ブランドや商品イメージ ○その他〔バスガイドの紹介〕
	長野県	○その土地に行かないと購入できない ○価格 ○中身の個数 ○小分包装 ○消費期限・賞味期限 ○パッケージなどのデザイン ○ロコミ ○ブランドや商品イメージ ○持ち運びの容易さ ○その他〔バスガイドの紹介、地域の名前、自分で買ってすぐ食べられるもの、商品券、割引券等がもらえる場所・もの〕
	山梨県	○その土地に行かないと購入できない ○ロコミ ○ブランドや商品イメージ ○その他〔観光地の名前の入ったもの、バスガイドの勧めるもの、日常的に使えるもの一人が買うと連鎖反应的に大勢が買うことがある〕
個人旅行	東京都	○その土地に行かないと購入できない ○パッケージなどのデザイン ○持ち運びの容易さ ○ロコミ ○雑誌やガイドブックなどの評判 ○SNS等の情報
	愛知県	○その土地に行かないと購入できない ○中身の個数 ○SNS等の情報 ○その他〔キャッチコピー〕 ※ブランド戦略として、パッケージを統一するなど客が地域をイメージしやすいアプローチをしていくことが重要。

旅行では、1人あたりいくらぐらいの土産物の費用になると思いますか。(金額)

業務種別	地域	土産物にかかる金額
団体旅行	愛知県	○2,000～3,000円程度 ○1個当たりの単価は、1,000円未満のもの。
	長野県	○年齢層や旅行目的によるが、2,000円～3,000円。○長野県民は土産にかかる費用が多いと思う。概ね1～2万円は使うと思う。 ○年寄りの方は、一人が買うと複数人購入する。 ○移動距離が遠くになればなるほど土産の費用も大きくなる。
	山梨県	○日帰り 5,000円程度 ○1泊2日 10,000円程度
個人旅行	東京都	○あまりイメージが湧かないが、3千円くらいではないか。 ○少ないと考える。 ○旅行へ行く頻度が少ない人の方が、多少多く買う。 ○買う人の場合、最低限1,000円くらいで、5,000円買う人はなかなかいない。 ※商品開発をするのであれば、1,000円以内で、「いいな」と思うものがよいと考える。
	愛知県	○5,000円程度 ○1個当たりの単価として、800～1,200円位のものが人気 ○箱物(菓子)の消費が減っている。

